

J R 総連通信

2021年5月18日 No.1458

全日本鉄道労働組合総連合会（JR総連） <http://www.jr-souren.com>

J R 総連 ・ J R 貨物労組 ・ J R 貨物 (株)

小宮山泰子衆議院議員と意見交換！

（JR総連推薦議員懇談会共同代表）



JR総連は5月17日、JR貨物労組高木委員長・村上書記長、JR貨物(株)花岡執行役員とともに、衆議院国土交通委員会理事・立憲民主党国土交通部会長（JR総連推薦議員懇談会共同代表）の衆議院議員・小宮山泰子氏のもとを訪れ、コロナ禍による輸送動向への影響や決算状況、全国ネットワークによる貨物鉄道輸送の優位性について現状報告をおこないました。

また、旧国鉄長期債務等処理法（日本国有鉄道清算事業団の債務等の処理に関する法律）の改正により、中期経営計画期間内における支援として、JR貨物に対し2023年度までの3年間で総額138億円の支援は決まりましたが、この先の将来展望として、並行在来線を維持する貨物調整金の扱いについて、「2031年度から新幹線貸付料を財源



としない新制度に移行する」ことが政府与党の申し合わせとなっていることについて言及し、貨物調整金がなくなると並行在来線会社の経営は維持できなくなり、JR貨物の在来線幹線ネットワークは寸断される可能性があるなど、経営課題についても議論を深めました。

JR総連は今後もJR総連推薦議員懇談会の議員の皆様をはじめ、立憲民主党「JR二島・貨物WT」などとも連携をはかり政策課題について取り組んでいきます。